

平成 29 年(2017 年) 4 月入学

宇 都 宮 大 学 大 学 院

工学研究科博士前期課程

第二次学生募集要項

(一 般 選 抜)

(社 会 人 特 別 選 抜)

(外国人留学生特別選抜)

(学部 3 年次生特別選抜)

宇 都 宮 大 学

「豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ 宇都宮大学」

宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、23頁をご覧ください。また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予などについて、できるだけ配慮を致します。困難な状況が続いていると思いますが、ぜひとも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

☆ 主要日程

	一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜 学 部 3 年 次 生 特 別 選 抜
出願受付期間	平成29年1月5日(木)から1月11日(水)まで 9時から16時まで (ただし、土曜・日曜・祝日は除く)
試 験 日	平成29年1月26日(木)から1月27日(金)まで 9時から (地球環境デザイン学専攻建築環境デザイン学コース以外は、 1月26日のみ)
合 格 発 表	平成29年2月6日(月) 13時予定

入学試験過去問題の開示について

工学研究科では、過去5年間の入学試験問題を開示しています。

開示場所 学務部入試課及び学務部陽東分室
窓口での閲覧

開示時間 9時～17時(土曜・日曜・祝日・年末年始は除く。)

個人情報の取扱いについて

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

- ① 入学者選抜、入学手続きなど入学までの一連の業務
- ② 入学後の修学関係(学生証交付、履修指導、名簿作成等)及び学生生活関連(奨学金、授業料免除等)の業務
- ③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

お問い合わせ先

〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2
宇都宮大学学務部陽東分室
電話 028-689-6003

目 次

I. 工学研究科（博士前期課程）アドミッション・ポリシー	1
II. 専攻別募集人員	3
III. 入学者選抜方法	4
1. 一般選抜	4
2. 社会人特別選抜	10
3. 外国人留学生特別選抜	15
4. 学部3年次生特別選抜	19
IV. 入学検定料免除について	23
V. 出願資格⑩の申請方法等について（一般選抜，社会人特別選抜）	23
VI. 入学手続	24
VII. 入学料及び授業料等	24
VIII. 長期履修学生制度	24
IX. 疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の特別措置に関する事前相談	25
X. 注意事項	25
XI. 日本学生支援機構奨学金	25
XII. 各専攻長と問い合わせ先	26
XIII. 試験場への案内	27
XIV. 宇都宮大学大学院工学研究科（博士前期課程）各専攻の教員・教育分野・ 担当授業科目の紹介	28

（添付書類等）

- ・ 入学志願票（一般選抜用）
- ・ 写真票，受験票（一般選抜用）
- ・ 入学志願票（特別選抜用）
- ・ 写真票，受験票（特別選抜用）
- ・ 受験許可書
- ・ 出願資格個別審査申請書（個別入学資格審査用）
- ・ 入学希望理由書（個別入学資格審査用）
- ・ 経歴書（個別入学資格審査用）
- ・ 学術論文等の要旨・研究経過報告書（個別入学資格審査用）
- ・ 研究業績調書（個別入学資格審査用）
- ・ 出願資格認定審査申請書（学部3年次生特別選抜用）
- ・ 推薦書（学部3年次生特別選抜用）
- ・ 銀行振込用紙（入学検定料振込用）
- ・ 入学検定料免除申請書

I. 工学研究科（博士前期課程）アドミッション・ポリシー

○機械知能工学専攻

1. 求める学生像

- (1) 数学・物理などの基礎科目並びに機械系専門科目について十分な学力を持つ人
- (2) 自然科学及び機械知能工学に関心を持ち、創造的・独創的に思考しながら、研究課題に取り組む意欲を持つ人
- (3) 「ものづくり」に大いに興味があり、実践的・応用的なものづくりに挑戦しようとする意欲を持つ人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 修士論文研究に必要な基礎的学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 機械知能工学分野に対する熱意と能力も評価の対象とします。
- (3) 主体的な姿勢，論理的思考力，表現力，コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

○電気電子システム工学専攻

1. 求める学生像

- (1) 電気電子工学に関する十分な基礎学力を有する人
- (2) 専門分野の高度な知識の修得を目指し、自立して研究に励む意欲を持つ人
- (3) 自主性と協調性を備え、高度な専門知識を活かして積極的に社会に貢献しようとする人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 修士論文研究に必要な基礎的学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 理数系分野に対する熱意と能力も評価の対象とします。
- (3) 主体的な姿勢，論理的思考力，表現力，コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

○物質環境化学専攻

1. 求める学生像

- (1) 「化学」を専門として活躍するために、深い知識や能力を身につけたい人
- (2) 自然科学・工学の基礎学力を持ち、新物質開発，環境問題などに対する創造的能力を高めたい人
- (3) 専門分野での国際的なコミュニケーション能力を高めたい人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 修士論文研究に必要な基礎的学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 物質環境化学の分野に対する熱意と能力も評価の対象とします。
- (3) 主体的な姿勢，論理的思考力，表現力，コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

○地球環境デザイン学専攻

建築環境デザイン学コース

1. 求める学生像

- (1) 建築分野の高度な学習と研究に意欲的に取り組み、倫理観を身につけ社会の発展に貢献する専門家を志す人
- (2) 地球環境と建築との関わりを学び、歴史を尊重し、工学と芸術の両面からの視点にたった新たな創造へのチャレンジを望む人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 修士論文および修士設計の研究に必要な基礎的学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 理数系分野およびデザイン分野に対する熱意と能力も評価の対象とします。
- (3) 主体的な姿勢，論理的思考力，表現力，コミュニケーション能力，空間創造能力なども考慮して評価します。

社会基盤デザイン学コース

1. 求める学生像

- (1) 社会基盤の整備に関わる高度な学習と研究に意欲的に取り組み，倫理観を身につけその分野の専門家を積極的に志す人
- (2) 建設分野の専門知識に加えて様々な工学的知識・技術を応用して，社会基盤の整備や地球環境の保全に貢献したいと望む人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 修士論文研究に必要な基礎的学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 理数系分野に対する熱意と能力も評価の対象とします。
- (3) 主体的な姿勢，論理的思考力，表現力，コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

○情報システム科学専攻

1. 求める学生像

- (1) 情報システム科学の基礎科目に十分な学力を有する人，または，他の分野で深い知識を身につけた人で，さらに情報システム科学の分野の学習や研究に意欲を持つ人
- (2) 常に問題意識を持ち，解決に向けて自ら考え，行動を起こす意欲と能力を備えている人
- (3) 情報システム科学やその関連分野における専門知識を身につけて，積極的に社会に貢献しようと考えている人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 修士論文研究に必要な基礎的学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 情報系，理数系分野に対する熱意と能力も評価の対象とします。
- (3) 主体的な姿勢，論理的思考力，表現力，コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

○先端光工学専攻

1. 求める学生像

- (1) 数学，物理学などの基礎科目を取得し，光科学・光工学に関連する分野で活躍したい人
- (2) 幅広い視野を持ち，高いコミュニケーション能力を有し，グローバルな場で活躍したい人
- (3) 自分の専門的知識を基に未知の分野や新技術の開発に挑戦し，社会に貢献したい人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 修士論文研究に必要な基礎的学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 理数系分野に対する熱意と能力も評価の対象とします。
- (3) 主体的な姿勢，論理的思考力，表現力，コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

平成 29 年 4 月入学

宇都宮大学大学院工学研究科博士前期課程第二次学生募集要項

Ⅱ. 専攻別募集人員

専攻名	選抜区分	募集人員
機械知能工学	一般選抜	若干名
	学部3年次生特別選抜	若干名
	社会人特別選抜	若干名
	外国人留学生特別選抜	若干名
電気電子システム工学	一般選抜	若干名
	学部3年次生特別選抜	なし
	社会人特別選抜	若干名
	外国人留学生特別選抜	若干名
物質環境化学	一般選抜	なし
	学部3年次生特別選抜	若干名
	社会人特別選抜	若干名
	外国人留学生特別選抜	若干名
地球環境デザイン学 建築環境デザイン学コース 社会基盤デザイン学コース	一般選抜	若干名
	学部3年次生特別選抜	若干名
	社会人特別選抜	若干名
	外国人留学生特別選抜	若干名
情報システム科学	一般選抜	若干名
	学部3年次生特別選抜	なし
	社会人特別選抜	若干名
	外国人留学生特別選抜	若干名
先端光工学	一般選抜	若干名
	学部3年次生特別選抜	若干名
	社会人特別選抜	若干名
	外国人留学生特別選抜	若干名

Ⅲ. 入学者選抜方法

選抜の方法には一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜及び学部3年次生特別選抜の4種類があります。

入学者の選抜は、学力検査(筆記試験及び口述試験)及び出願書類を総合して行います。ただし、社会人特別選抜は、筆記試験を課しません。

1. 一般選抜

(1) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項により学士の学位を授与された者及び平成29年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 日本国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は日本国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと学長が認めた者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると学長が認めた者
- ⑩ 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認める者で、入学時まで22歳に達する者

注1) ⑥⑧⑨で出願しようとする者は、11月17日(木)までに学務部陽東分室へ問い合わせてください。

注2) ⑩で出願しようとする者は、出願資格審査を行いますので、必要書類を一括して学務部陽東分室に提出してください。

なお、申請方法等については、23頁を参照してください。

(2) 出願手続

① 出願期間

平成29年1月5日（木）から1月11日（水）まで（土、日、祝日を除く）。受付時間は、9時から16時までとします。

なお、郵送の場合は、「速達書留」として1月11日（水）16時までには必着とします。

② 出願書類及び入学検定料

入 学 志 願 票	<p>本学所定用紙。一般選抜用を使用してください。</p> <p>指導教員による実質的指導時間を確保するため、あるいは、各研究室の施設・設備上の制約のため、指導教員の受け入れ人数に制限を設けている場合があります。この場合、受験生は、試験に合格しても、特定の指導教員の指導を受けられない可能性があります。そこで、受験生は、希望する指導教員を第1希望から第4希望まで指定することができます。（第4希望まで、すべて指定する必要はありません。）</p> <p>なお、各教員における受け入れ人数制限の詳細については、専攻に問い合わせてください。</p>
卒業(見込み)証明書	本学卒業（見込み）の者については不要です。
成 績 証 明 書	出身大学（学部）長、短期大学長又は高等専門学校長等が作成し、厳封したもの。本学卒業（見込み）の者については不要です。
写真票及び受験票	本学所定用紙。それぞれ、出願前3カ月以内に撮影の脱帽上半身（4×3cm）の写真を所定の位置に貼ってください。
受 験 許 可 書	現在、大学院に在学中、あるいは官庁、会社等に在職中の者は、本学所定用紙を用い、所属長発行のものを提出してください。
学位授与証明書等	<ol style="list-style-type: none"> 4頁の出願資格②により出願する者は、学位授与証明書 4頁の出願資格②により出願する者のうち学士の学位を授与される見込みの者は、大学評価・学位授与機構が発行する「学位授与の申請を受理している旨の証明書」又は在籍する学校長の発行する「学位授与申請見込み証明書」
住 民 票 等 (日本の国籍を有しない者のみ提出)	<p>日本の国籍を有しない者は、下記の書類を提出してください。ただし、本学の在学者（科目等履修生及び研究生を含む）については不要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 日本国に在住している外国人は、市区町村長の交付する住民票（在留期間・在留資格を明記したものでマイナンバーの記載がないもの） 日本語の学力を表す証明書
国 費 外 国 人 留 学 生 証 明 書	出願時に、国費外国人留学生である者は、在学している大学発行の証明書又は身分を確認できる書類等を提出してください。
返 送 用 封 筒	<p>受験票送付用封筒。（長3の封筒に住所、氏名明記、簡易書留郵便料（392円）分の切手貼付のもの）</p> <p>ただし、願書を持参する場合は不要です。</p>

入学検定料	<p>30,000円・・・本学所定の銀行振込用紙を用い、本学の取引銀行（足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行）のいずれかの口座に振り込むこと。ただし、ATMは使用しないでください。なお、その際振込銀行から発行される「振込受付証明書」を受け取り「入学志願票」の所定の欄に貼付してください。</p> <p>また、地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、23頁「IV. 入学検定料免除について」を参照し、「入学検定料免除申請書」を提出してください。その場合は、入学検定料は納付せずに、入学検定料『振込受付証明書』貼付欄の「免除申請」を○で囲んでください。</p>
TOEIC*又はTOEFLスコアシート	<p>受験する専攻の試験科目特記事項に従ってTOEIC又はTOEFLスコアシートを提出する場合は該当します。TOEIC又はTOEFLスコアの原本とその写し1部を提出してください。TOEFLの場合は、Official Score Reportを宇都宮大学機関コード「7976」に送付するように手続きをしてください。TOEFL Test Taker Score Report (Examinee Score Report)の提出でも結構です。再発行されたものでも有効です。ただし、有効なスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限ります。なお、原本は出願受付後に返却いたします。</p> <p>また、提出可能な試験の種類は、専攻により異なりますので、特記事項に従って提出してください。</p>

- ※ 学力を表す論文、報告書又は教員の推薦書等の書類を願書に添えて提出することもできます。
- ※ 出願書類のうち、英語以外の外国語文によるものは、訳文の提出を求める場合があります。
- ※ 国費外国人留学生奨学金支給期間延長の申請を予定している者は、所定の届出により入学検定料を免除するので、出願前に必ず学務部陽東分室に問い合わせてください。

* TOEICテストは、平成28年8月5日（金）より「TOEIC Listening & Reading Test」（略称：TOEIC L&R）に名称変更となりました。

③ 出願書類提出先

〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学学務部陽東分室

(3) 学 力 検 査

① 試験の日時及び場所

専 攻	月 日	試験科目	時 間	場 所
機械知能工学	1月26日(木)	筆記試験	9時～11時30分	宇都宮大学 工学部・工 学研究科
		外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	
電気電子 システム工学	1月26日(木)	筆記試験	9時～12時	
		外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	

専攻	月 日	試験科目	時 間	場 所
地球環境 デザイン学 (建築環境デザイン学コース)	1月26日(木)	基礎科目	9時～12時	宇都宮大学 工学部・工 学研究科
		専門科目	13時～16時	
	1月27日(金)	外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	
地球環境 デザイン学 (社会基盤デザイン学コース)	1月26日(木)	基礎科目	9時～12時	
		外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	
情報システム 科学	1月26日(木)	基礎科目	9時～11時	
		外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	
先端光工学	1月26日(木)	基礎科目	9時～11時	
		外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	

② 試験科目

試験科目は専攻ごとに定められていますので、希望する専攻が指定する試験を受験してください。

筆記試験等の内容は次のとおりとします。

ただし、機械知能工学専攻、電気電子システム工学専攻、地球環境デザイン学専攻、先端光工学専攻を希望する国費外国人留学生（研究留学生）及び外国政府派遣留学生については、筆記試験を免除します。

専攻	基礎科目	専門科目	外国語
機械知能工学	数学、材料力学、機械力学、熱力学（伝熱を含む）、流体工学、機械材料学、自動制御、メカトロニクス（電子回路を含む）の8科目から1問ずつ出題、これから3問選択。		英 語
電気電子システム工学	電気磁気学、電気回路		
地球環境デザイン学 (建築環境デザイン学コース)	即日設計又は小論文のいずれかを選択	建築構造学、建築計画学、建築環境学、建築材料学につき各2問のうち1問ずつ選択 ただし、志望専門分野は2問解答	
地球環境デザイン学 (社会基盤デザイン学コース)	数学、物理学	課しません。	
情報システム科学	線形代数、微積分学、離散数学、計算機システム及びデータ構造とアルゴリズムの5分野から2分野を選択	課しません。	
先端光工学	光学の基礎に関する出題。 内容に関しては、問い合わせに応じます。	課しません。	

各専攻の試験については、試験科目の特記事項があるので注意してください。

③ 試験科目の特記事項

1) 外国語（英語）

- 機械知能工学専攻，地球環境デザイン学専攻社会基盤デザイン学コース，先端光工学専攻：
筆記試験を行わずに，その成績としてTOEIC (TOEIC IP, カレッジTOEICを含む。)のスコア又はTOEFLスコアを換算使用します。
- 電気電子システム工学専攻，地球環境デザイン学専攻建築環境デザイン学コース，情報システム科学専攻：
筆記試験を行わずに，その成績としてTOEIC公開テスト (TOEIC IP, カレッジTOEICを除く。)のスコア又はTOEFLスコアを換算使用します。

TOEIC

- 機械知能工学専攻，電気電子システム工学専攻，地球環境デザイン学専攻，情報システム科学専攻：
 - ・ TOEICのスコア750点以上の場合
満点
 - ・ TOEICのスコア750点未満の場合
換算点 = (満点) × (TOEICのスコア) / 750
- 先端光工学専攻：
 - ・ TOEICスコアによる換算点の算出方法に関しては，問い合わせに応じます。

TOEFL

- ・ TOEFL (iBT) のスコアが83点以上の場合
満点
 - ・ TOEFL (iBT) のスコアが83点未満の場合
換算点 = (満点) × (TOEFL (iBT) のスコア) / 83
- TOEFL (iBT), TOEFL (PBT)間の換算には，換算表を用います。
(参考：TOEFL iBT® テスト学習者用 Web サイト
<http://www.cieej.or.jp/toefl/itp/correlation.html>
TOEFL® PBT テストスコアとの換算表)

ただし，有効なスコアは，選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りません。

2) 筆記試験・口述試験

- 地球環境デザイン学専攻社会基盤デザイン学コース：
口述試験においては水理学，土質力学，構造力学，コンクリート工学，土木計画学に関する知識を問います。
- 情報システム科学専攻：
 - ・筆記試験の基礎科目で出題する各分野について，おもな出題内容を表すキーワードは以下のとおりです。
線形代数：行列と行列式，連立1次方程式，線形空間と線形写像，固有値と固有ベクトル，行列の対角化とジョルダン標準形，2次形式

微積分学：数列と級数，テイラー級数と整級数，1変数関数及び多変数関数の微積分，極値問題とその応用，広義積分，微分方程式

離散数学：整数の性質，集合，写像，関係，数え上げと組み合わせ，母関数，グラフ理論

計算機システム：コンピュータの構成と動作原理，命令セットの方式(アドレッシング法，データの表現)，制御・演算・記憶・入出力各装置の構成
データ構造とアルゴリズム：リスト，スタック，待ち行列，木，探索，ハッシュ，整列

- ・筆記試験の基礎科目として「基礎科目2分野を選択」の代わりに、「基礎科目1分野とプレゼンテーション」を認める場合があります。「基礎科目1分野とプレゼンテーション」により受験が認められるのは，原則として理工系出身以外の者としします。プレゼンテーションでは，これまで行ってきた学習内容と今後の研究計画を要約して発表してもらい，これに関して質疑応答を行います。「基礎科目1分野とプレゼンテーション」による受験を希望する者は，事前に，希望する指導教員と必ず連絡をとり，出願時に出身学校のシラバス（授業要目）の専門に関する部分の写し1部及び宛名を明記した返信用はがきを同封し，出願書類封筒に「プレゼンテーション希望」と朱書きしてください。提出された資料に基づき，「基礎科目1分野とプレゼンテーション」での受験の可否を判定します。判定結果は平成29年1月17日（火）までに通知します。「基礎科目1分野とプレゼンテーション」での受験が認められた場合には，基礎科目については，5分野から1分野を選択し1時間で解答してください。また，「基礎科目2分野を選択」の受験が妥当であると判断された場合には「基礎科目2分野を選択」で受験しなければなりません。

(4) 合格発表

平成29年2月6日（月）13時（予定）工学部・工学研究科掲示板に発表するとともに本人に通知します。

また，合格者発表専用URL「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/>」にも合格者の受験番号を掲載します。これは情報提供サービスの一環で行うものですので，必ず合格通知書又は学内の掲示により確認してください。（システム障害等がない場合，工学部・工学研究科掲示板に発表してから30分後に掲載します。）なお，電話等による可否の照会には応じません。

(5) 注意事項

- ① 出願資格①②③④⑤⑥の卒業見込みあるいは修了見込みにより出願した者が入学試験に合格したときは，入学するまでに「卒業証明書」「修了証明書」「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を提出してください。
- ② 出願資格①②③④⑤⑥の卒業見込みあるいは修了見込みにより出願したが，卒業又は修了しなかった場合あるいは学士の学位を授与されなかった場合は，合格を取り消します。
- ③ 各専攻において，学部履修段階での使用教科書等の問い合わせに応じます。

2. 社会人特別選抜

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について

近年、科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人技術者、教育者、研究者の再教育への要請が高まっています。しかし、通常の方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人は最低2年間その勤務を離れて就学する必要があるため、大学院教育を受ける機会が制限されがちです。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されて、社会人技術者、教育者、研究者の就学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

これを踏まえ、本学工学研究科では大学院での履修を希望する社会人技術者、教育者、研究者に対し大学院設置基準第14条に定める特例による教育を実施しています。

教育方法の特例の概要は、次のとおりです。

(1) 博士前期課程2年のうち原則として1年間は通常の時間帯において授業を受け研究を行い、また、1年間は夜間その他特定の時間又は時期において授業を受け研究を行うことができる。ただし、通常の時間帯とする年次を第1年次にするか、又は第2年次にするかは、指導教員と相談のうえ、入学時に届けるものとする。

特例の授業は、原則として平日の11・12時限(17:50~19:20)に設定する。

(2) 修士論文のための研究に柔軟性を持たせており、企業における研究も、その内容によっては修士論文テーマとして認めている。

(1) 出願資格

出願前に希望する指導教員と連絡をとり、受入の承諾を得ることが必要です。また、出願時において企業等に勤務している場合は、所属長の許可も必要となります。

その上で、次の各号のいずれかに該当する者を対象とします。

- ① 大学を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者
- ⑥ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑦ 昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされる者に限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと学長

が認めた者

⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると学長が認めた者

⑩ 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認める者で、入学時まで22歳に達する者

注1) ⑥⑧⑨で出願しようとする者は、11月17日(木)までに学務部陽東分室へ問い合わせてください。

注2) ⑩で出願しようとする者は、23頁を参照してください。

(2) 出願手続

① 出願期間

平成29年1月5日(木)から1月11日(水)まで(土、日、祝日を除く)。受付時間は、9時から16時までとします。

なお、郵送の場合は、「速達書留」とし1月11日(水)16時まで必着とします。

② 出願書類及び入学検定料

入学志願票	本学所定用紙。なお、特別選抜用を使用してください。 社会人特別選抜志願者は、出願前に、希望指導教員の承諾を得た上で、志願票に確認印を受け、提出してください。
卒業証明書	本学卒業の者については不要です。
成績証明書	出身大学(学部)長、短期大学長又は高等専門学校長等が作成し、厳封したもの。本学卒業の者については不要です。
写真票及び受験票	本学所定用紙。それぞれ、出願前3カ月以内に撮影の脱帽上半身(4×3cm)の写真を所定の位置に貼ってください。
受験許可書	本学所定用紙(所属長が発行したもの)。出願時に企業等に勤務している者のみ。
業績報告書	A4判1枚、様式随意。
研究(希望)計画書	A4判1枚、様式随意。
学位授与証明書	出願資格②により学士の学位を授与された者。
住民票等 (日本の国籍を有しない者のみ提出)	日本の国籍を有しない者は、下記の書類を提出してください。 1. 日本国に在住している外国人は、市区町村長の交付する住民票(在留期間・在留資格を明記したものでマイナンバーの記載がないもの) 2. 日本語の学力を表す証明書。
返送用封筒	受験票送付用封筒(長3の封筒に住所、氏名明記、簡易書留郵便料(392円)分の切手貼付のもの)。 ただし、願書を持参する場合は不要です。

入学検定料	<p>30,000 円・・・本学所定の銀行振込用紙を用い、本学の取引銀行（足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行）のいずれかの口座に振り込んでください。ただし、ATMは使用しないでください。なお、その際振込銀行から発行される「振込受付証明書」を受け取り「入学志願票」の所定の欄に貼付してください。</p> <p>また、地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、23 頁「IV. 入学検定料免除について」を参照し、「入学検定料免除申請書」を提出してください。その場合は、入学検定料は納付せずに、入学検定料『振込受付証明書』貼付欄の「免除申請」を○で囲んでください。</p>
TOEIC* 又は TOEFL スコアシート	<p>受験する専攻の試験科目特記事項に従って TOEIC 又は TOEFL スコアシートを提出する場合は該当します。TOEIC 又は TOEFL スコアの原本とその写し1部を提出してください。TOEFL の場合は、Official Score Report を宇都宮大学機関コード「7976」に送付するように手続きをしてください。TOEFL Test Taker Score Report (Examinee Score Report)の提出でも結構です。再発行されたものでも有効です。ただし、有効なスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りです。なお、原本は出願受付後に返却いたします。</p> <p>また、提出可能な試験の種類は、専攻により異なりますので、特記事項に従って提出してください。</p>

※ 出願書類のうち、英語以外の外国語文によるものには、訳文の提出を求める場合があります。

* TOEICテストは、平成28年8月5日（金）より「TOEIC Listening & Reading Test」（略称：TOEIC L&R）に名称変更となりました。

③ 出願書類提出先

〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学学務部陽東分室

(3) 学 力 検 査

① 試験の日時、科目及び場所

専 攻	月 日	試験科目	時 間	場 所
機械知能工学	1月26日(木)	口述試験	13時～16時	宇都宮大学 工学部・工 学研究科
電気電子 システム工学	1月26日(木)	外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	
物質環境化学	1月26日(木)	口述試験	13時～16時	
地球環境 デザイン学 (建築環境デザイン学コース)	1月27日(金)	口述試験	13時～16時	

専攻	月 日	試験科目	時 間	場 所
地球環境 デザイン学 (社会基盤デザイン学コース)	1月26日(木)	口述試験	13時～16時	宇都宮大学 工学部・工 学研究科
情報システム 科学	1月26日(木)	外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	
先端光工学	1月26日(木)	口述試験	13時～16時	

☆ 口述試験は、志望する専攻の専門科目、業績報告書及び研究(希望)計画書の内容について行います。試験は、口述試験を専攻別に行います。なお、試験科目の特記事項を参照してください。

② 試験科目の特記事項

1) 外国語(英語)

○電気電子システム工学専攻、情報システム科学専攻：

筆記試験を行わずに、その成績としてTOEIC公開テスト(TOEIC IP, カレッジTOEICを除く。)のスコア又はTOEFLスコアを換算使用します。

TOEIC

- ・TOEICのスコア750点以上の場合
満点
- ・TOEICのスコア750点未満の場合
換算点 = (満点) × (TOEICのスコア) / 750

TOEFL

- ・TOEFL (iBT) のスコアが83点以上の場合
満点
 - ・TOEFL (iBT) のスコアが83点未満の場合
換算点 = (満点) × (TOEFL (iBT) のスコア) / 83
- TOEFL (iBT), TOEFL (PBT)間の換算には、換算表を用います。
(参考: TOEFL iBT® テスト学習者用 Web サイト
<http://www.cieej.or.jp/toefl/itp/correlation.html>
TOEFL® PBT テストスコアとの換算表)

ただし、有効なスコアは、選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りません。

(4) 合格発表

平成29年2月6日(月)13時(予定)工学部・工学研究科掲示板に発表するとともに本人に通知します。

また、合格者発表専用URL「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/>」にも合格者の受験番号を掲載します。これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書又は学内の掲示により確認してください。(システム障害等がない場合、工学部・工学研究科掲示板に発表してから30分後に掲載します。)なお、電話等に

よる可否の照会には応じません。

(5) 注 意 事 項

各専攻において、学部履修段階での使用教科書等の問い合わせに応じます。

3. 外国人留学生特別選抜

(1) 出願資格

日本の国籍を有しない者で、修学に必要な程度の日本語能力があり、次の各号のいずれかに該当する者を対象とします。

- ① 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年3月末までに修了見込みの者
- ② 大学を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認める者

注) ②で出願しようとする者は、11月17日(木)までに学務部陽東分室へ問い合わせてください。

(2) 出願手続

① 出願期間

平成29年1月5日(木)から1月11日(水)まで(土、日、祝日を除く)。受付時間は、9時から16時までとします。

なお、郵送の場合は、「速達書留」とし1月11日(水)16時までに必着とします。

② 出願書類及び入学検定料

一般選抜と同じ。ただし、志願票は特別選抜用を使用してください。

③ 出願書類提出先

〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学学務部陽東分室

(3) 学力検査

① 試験の日時、科目及び場所

専攻	月 日	試験科目	時 間	場 所
機械知能工学	1月26日(木)	筆記試験	9時～11時30分	宇都宮大学 工学部・工 学研究科
		外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	
電気電子 システム工学	1月26日(木)	筆記試験	9時～12時	
		外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	
物質環境化学	1月26日(木)	基礎科目	9時～12時	
		外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	
地球環境 デザイン学 (建築環境デザイン学コース)	1月26日(木)	基礎科目	9時～12時	
		専門科目	13時～16時	
	1月27日(金)	外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	
地球環境 デザイン学 (社会基盤デザイン学コース)	1月26日(木)	基礎科目	9時～12時	
		外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	
情報システム 科学	1月26日(木)	基礎科目	9時～11時	
		外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	

専攻	月 日	試験科目	時 間	場 所
先端光工学	1月26日(木)	基礎科目	9時～11時	宇都宮大学 工学部・工 学研究科
		外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	

試験科目は専攻ごとに定められていますので、希望する専攻が指定する試験を受験してください。

② 筆記試験等の内容は次のとおりとします。

専攻	基礎科目	専門科目	外国語
機械知能工学	数学，材料力学，機械力学，熱力学（伝熱を含む），流体力学，機械材料学，自動制御，メカトロニクス（電子回路を含む）の8科目から1問ずつ出題，これから2問選択。		英 語
電気電子システム工学	電気磁気学，電気回路		
物質環境化学	有機化学，無機化学，物理化学，分析化学，化学工学の5科目から4科目選択	課しません。	
地球環境デザイン学 (建築環境デザイン学コース)	即日設計又は小論文のいずれかを選択	専門科目に関する口頭試問	
地球環境デザイン学 (社会基盤デザイン学コース)	数学，物理学	課しません。	
情報システム科学	線形代数，微積分学，離散数学，計算機システム及びデータ構造とアルゴリズムの5分野から2分野を選択	課しません。	
先端光工学	光学の基礎に関する出題。 内容に関しては，問い合わせに応じます。	課しません。	

各専攻の試験については、試験科目の特記事項があるので注意してください。

いずれの専攻においても外国語を除く筆記試験については、日本語・母国語辞書（電子辞書・翻訳機等は除く）の持ち込みを認めることがあります。希望する場合には、必ず志願票の該当する欄に記入してください。なお、試験時に、使用の可否について回答します。

※ 機械知能工学専攻，電気電子システム工学専攻，物質環境化学専攻，地球環境デザイン学専攻，先端光工学専攻に出願する国費外国人留学生（研究留学生）及び外国政府派遣留学生については，学力試験（筆記試験）を免除します。

③ 試験科目の特記事項

1) 外国語（英語）

○機械知能工学専攻，物質環境化学専攻，地球環境デザイン学専攻社会基盤デザ

イン学コース，先端光工学専攻：

筆記試験を行わずに，その成績としてTOEIC (TOEIC IP, カレッジTOEICを含む。)のスコア又はTOEFLスコアを換算使用します。

- 電気電子システム工学専攻，地球環境デザイン学専攻建築環境デザイン学コース，情報システム科学専攻：

筆記試験を行わずに，その成績としてTOEIC公開テスト (TOEIC IP, カレッジTOEICを除く。)のスコア又はTOEFLスコアを換算使用します。

TOEIC

- 機械知能工学専攻，電気電子システム工学専攻，地球環境デザイン学専攻，情報システム科学専攻：

・TOEICのスコア750点以上の場合

満点

・TOEICのスコア750点未満の場合

換算点 = (満点) × (TOEICのスコア) / 750

- 物質環境化学専攻，先端光工学専攻：

・TOEICスコアによる換算点の算出方法に関しては，問い合わせに応じます。

TOEFL

・TOEFL (iBT) のスコアが83点以上の場合

満点

・TOEFL (iBT) のスコアが83点未満の場合

換算点 = (満点) × (TOEFL (iBT) のスコア) / 83

TOEFL (iBT), TOEFL (PBT)間の換算には，換算表を用います。

(参考：TOEFL iBT® テスト学習者用 Web サイト

<http://www.cieej.or.jp/toefl/itp/correlation.html>

TOEFL® PBT テストスコアとの換算表)

ただし，有効なスコアは，選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りません。

2) 筆記試験・口述試験

- 地球環境デザイン学専攻社会基盤デザイン学コース：

口述試験においては水理学，土質力学，構造力学，コンクリート工学，土木計画学に関する知識を問います。

- 情報システム科学専攻：

・筆記試験の基礎科目で出題する各分野について，おもな出題内容を表すキーワードは以下のとおりです。

線形代数：行列と行列式，連立1次方程式，線形空間と線形写像，固有値と固有ベクトル，行列の対角化とジョルダン標準形，2次形式

微積分学：数列と級数，テイラー級数と整級数，1変数関数及び多変数関数の微積分，極値問題とその応用，広義積分，微分方程式

離散数学：整数の性質，集合，写像，関係，数え上げと組み合わせ，母関数，グラフ理論

計算機システム：コンピュータの構成と動作原理，命令セットの方式(アドレッシング法，データの表現)，制御・演算・記憶・入出力各装置の構成
データ構造とアルゴリズム：リスト，スタック，待ち行列，木，探索，ハッシュ，
整列

- ・筆記試験の基礎科目として「基礎科目2分野を選択」の代わりに、「基礎科目1分野とプレゼンテーション」を認める場合があります。プレゼンテーションでは，これまで行ってきた学習内容と今後の研究計画を要約して発表してもらい，これに関して質疑応答を行います。「基礎科目1分野とプレゼンテーション」による受験を希望する者は，事前に，希望する指導教員と必ず連絡をとり，宛名を明記した返信用はがきを同封し，出願書類封筒に「プレゼンテーション希望」と朱書きしてください。提出された資料に基づき，「基礎科目1分野とプレゼンテーション」での受験の可否を判定します。判定結果は平成29年1月17日(火)までに通知します。「基礎科目1分野とプレゼンテーション」での受験が認められた場合には，基礎科目については，5分野から1分野を選択し1時間で解答してください。また，「基礎科目2分野を選択」の受験が妥当であると判断された場合には「基礎科目2分野を選択」で受験しなければなりません。

(4) 合格発表

平成29年2月6日(月)13時(予定)工学部・工学研究科掲示板に発表するとともに本人に通知します。

また，合格者発表専用URL「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/>」にも合格者の受験番号を掲載します。これは情報提供サービスの一環で行うものですので，必ず合格通知書又は学内の掲示により確認してください。(システム障害等がない場合，工学部・工学研究科掲示板に発表してから30分後に掲載します。)なお，電話等による可否の照会には応じません。

(5) 注意事項

- ① 希望指導教員には事前に連絡を取っておくこと。
- ② 出願資格①の修了見込みにより出願した者が入学試験に合格したときは，入学するまでに「修了証明書」を提出してください。
- ③ 出願資格①の修了見込みにより出願したが，修了しなかった場合は，合格を取り消します。
- ④ 各専攻において，学部履修段階での使用教科書等の問い合わせに応じます。

4. 学部3年次生特別選抜

(1) 出願資格

平成29年3月末において大学に3年以上在学し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認める者を対象とします。

この資格に定める者の範囲は、次のすべての要件を満たす者とします。

- ① 平成29年3月末において、大学在学期間が3年間（休学期間を除く）に達すること。
- ② 平成29年3月末において、3年次までに修得する必要がある必修科目の全部（基盤教育関係科目を含む）及びそれを含めて、卒業要件単位数の4/5以上の単位を修得見込みであり、かつ、総修得単位の4/5以上が優以上の評語（点数評価の場合は100点満点で80点以上）を得る見込みであること。
- ③ 在籍する大学の学部長、学科長等の推薦を得ていること。

〔注意1〕

入学試験に合格した後、平成29年3月末日までに上記(1)に定める所定の要件を欠いた場合は合格を取り消します。

〔注意2〕

合格者は、平成29年3月8日（水）までに在籍大学（学部）長から、本研究科長あてに成績証明書（第3年次終了までの成績が記載されたもの）を提出してください。

〔注意3〕

本選抜により入学した者は、学部を退学したのものとして扱われます。したがって、種々の国家試験等の資格試験において、大学の学部を卒業していることを受験資格要件とするものについては、受験資格がないこととなります。

(2) 出願資格認定手続

- ① 出願しようとする者は、「出願資格認定申請書」、「推薦書」（以上本学所定用紙）、「成績証明書」、履修規程（授業内容一覧を含む履修の手引等）及び在学証明書（成績証明書、履修規程、在学証明書については、本学学生は不要）、速達料金362円分の切手を貼付した住所及び氏名明記の返信用封筒（長3）を同封のうえ、平成28年11月17日（木）から11月25日（金）まで（土、日、祝日を除く）に学務部陽東分室に提出してください。
- ② 審査は、宇都宮大学大学院工学研究科において行い、結果は、平成28年12月28日（水）までに本人あて通知します。

(3) 出願手続

① 出願期間

平成29年1月5日（木）から1月11日（水）まで（土、日、祝日を除く）。受付時間は、9時から16時までとします。

なお、郵送の場合は、「速達書留」とし1月11日（水）16時までに必着とします。

② 出願書類及び入学検定料

一般選抜と同じ。ただし、志願票は特別選抜用を使用してください。

③ 出願書類提出先

〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学学務部陽東分室

(4) 学 力 検 査

① 試験の期日及び場所

専 攻	月 日	試験科目	時 間	場 所
機械知能工学	1月26日(木)	筆記試験	9時～11時30分	宇都宮大学 工学部・工 学研究科
		外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	
物質環境化学	1月26日(木)	基礎科目	9時～12時	
		外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	
地球環境 デザイン学 (建築環境デザイ ン学コース)	1月26日(木)	基礎科目	9時～12時	
		専門科目	13時～16時	
	1月27日(金)	外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	
地球環境 デザイン学 (社会基盤デザイ ン学コース)	1月26日(木)	基礎科目	9時～12時	
		外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	
先端光工学	1月26日(木)	基礎科目	9時～11時	
		外国語	特記事項参照	
		口述試験	13時～16時	

試験科目は専攻ごとに定められていますので、希望する専攻が指定する試験を受験してください。

② 筆記試験等の内容は次のとおりとします。

専 攻	基 礎 科 目	専 門 科 目	外国語
機械知能工学	数学, 材料力学, 機械力学, 熱力学 (伝熱を含む), 流体力学, 機械材料学, 自動制御, メカトロニクス (電子回路を含む) の 8 科目から 1 問ずつ出題, これから 3 問選択。		英 語
物質環境化学	有機化学, 無機化学, 物理化学, 分析化学, 化学工学の 5 科目から 4 科目選択	課しません。	
地球環境 デザイン学 (建築環境デザイ ン学コース)	即日設計又は小論文の いずれかを選択	建築構造学, 建築計画学, 建築環境学, 建築材料学につき各 2 問のうち 1 問ずつ選択 ただし, 志望専門分野は 2 問解答	
地球環境 デザイン学 (社会基盤デザイ ン学コース)	数学, 物理学	課しません。	
先端光工学	光学の基礎に関する出題。 内容に関しては, 問い合わせに 応じます。	課しません。	

注) 試験科目の特記事項があるので注意してください。

③ 試験科目の特記事項

1) 外国語（英語）

- 機械知能工学専攻，物質環境化学専攻，地球環境デザイン学専攻社会基盤デザイン学コース，先端光工学専攻：
筆記試験を行わずに，その成績としてTOEIC (TOEIC IP, カレッジTOEICを含む。)のスコア又はTOEFLスコアを換算使用します。
- 地球環境デザイン学専攻建築環境デザイン学コース：
筆記試験を行わずに，その成績としてTOEIC公開テスト (TOEIC IP, カレッジTOEICを除く。)のスコア又はTOEFLスコアを換算使用します。

TOEIC

- 機械知能工学専攻，地球環境デザイン学専攻：
 - ・ TOEICのスコア750点以上の場合
満点
 - ・ TOEICのスコア750点未満の場合
換算点 = (満点) × (TOEICのスコア) / 750
- 物質環境化学専攻，先端光工学専攻：
 - ・ TOEICスコアによる換算点の算出方法に関しては，問い合わせに応じます。

TOEFL

- ・ TOEFL (iBT) のスコアが83点以上の場合
満点
 - ・ TOEFL (iBT) のスコアが83点未満の場合
換算点 = (満点) × (TOEFL (iBT) のスコア) / 83
- TOEFL (iBT), TOEFL (PBT)間の換算には，換算表を用います。
(参考：TOEFL iBT® テスト学習者用 Web サイト
<http://www.cieej.or.jp/toefl/itp/correlation.html>
TOEFL® PBT テストスコアとの換算表)

ただし，有効なスコアは，選抜試験日から過去2年以内に受験したものに限りません。

2) 口述試験

- 地球環境デザイン学専攻社会基盤デザイン学コース：
口述試験においては水理学，土質力学，構造力学，コンクリート工学，土木計画学に関する知識を問います。

(5) 合格発表

平成29年2月6日(月)13時(予定)

工学部・工学研究科掲示板に発表するとともに本人に通知します。

また，合格者発表専用URL「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/>」にも合格者の受験番号を掲載します。これは情報提供サービスの一環で行うものですので，必ず合格通知書又は学内の掲示により確認してください。(システム障害等がない場合，工学部・工学研究科掲示板に発表してから30分後に掲載します。)なお，電話等による合

否の照会には応じません。

(6) 注 意 事 項

- ① 希望指導教員には事前に連絡を取っておくこと。
- ② 各専攻において，学部履修段階での使用教科書等の問い合わせに応じます。

IV. 入学検定料免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、東日本大震災及び平成23年3月以降に災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用された地域における地震，風水害等の災害（以下「災害」という。）により、次に該当する者です。

ア 主たる家計支持者（父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。）が、災害救助法が適用された地域に居住している場合又は居住していた場合で、次のいずれかに該当する者

㊦ 家計支持者の居住する家屋について、市町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

（ア） 全壊

（イ） 大規模半壊

（ウ） 半壊

㊧ 家計支持者が、原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号）に基づき定められた次のいずれかの区域に居住している者又は居住していた者

（ア） 警戒区域

（イ） 計画的避難区域

（ウ） 緊急時避難準備区域

イ 家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、入学検定料免除申請書（別添書類）に、次のいずれかの証明書（写し可）を添えて、申請してください。

ア ①ア㊦並びに㊧に該当する者

罹災証明書，被災証明書等

イ ①イに該当する者

㊦ 家計支持者が死亡した場合

家計支持者の死亡が確認できる書類

㊧ 家計支持者が行方不明となった場合

家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て（入学検定料免除申請書に記載してください。）

なお、提出書類について不明な点がある場合は、あらかじめ学務部陽東分室までお問い合わせください。

また、免除申請の要件を満たしていなかった場合は、入学検定料の納付について学務部陽東分室から電話にて連絡します。

V. 出願資格⑩の申請方法等について（一般選抜，社会人特別選抜）

① 個別の入学資格審査を受けようとする者は、「入学試験出願資格個別審査申請書」「入学希望理由書」「経歴書」「学術論文等の要旨・研究経過報告書」「研究業績調書」（以上本学所定用紙），論文の写し等，最終学校の「学業成績証明書」，「卒業（修了）証明書」，大学卒業までに16年を要しない国の大学を卒業した者にあつては，「研究従事証明書」，速達料金362円分の切手を貼付した住所及び氏名明記の返信用封筒（長3）を同封のうえ，平成28年11

月17日（木）から11月25日（金）まで（土、日、祝日を除く）に学務部陽東分室に提出してください。

- ② 審査は、宇都宮大学大学院工学研究科において行い、結果は、平成28年12月28日（水）までに本人あて通知します。

VI. 入学手続

合格者は平成29年3月6日（月）から3月8日（水）までに入学手続をしなければなりません。詳細（入学料・授業料免除申請を含む）については、合格通知書とともに送付します。

VII. 入学料及び授業料等

(1) 入学料及び授業料等

入学料 282,000円

授業料 535,800円（年額）

※ 入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※ 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 授業料は、半期分（267,900円）をそれぞれ指定期日までに納付してください。

(2) 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料（2年間分）〔平成28年4月現在〕

2,430円

VIII. 長期履修学生制度

この制度は、職業を有していること等により標準修業年限内での修学が困難な者に対して、標準修業年限（2年）を超えて一定期間（最長4年）にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了できるようにするものです。教育課程表や履修すべき総単位数は2年で修了するものと同じですから、単年度の時間的負担は相当軽減されることとなります。

長期履修学生として認められますと、通常2年の大学院修了年限のところを、例えば3年間で修了することができます。この間の授業料は、2年分を3年に分割して納入することになります。すなわち2年間（4学期）の授業料を3年間（6学期）に分割して納めるために、年当たりの負担額は少なくなります。（ただし、授業料が改訂された場合は、改定後の金額を基に再計算されます。）

長期履修学生として認められるためには、必要書類を添付のうえ、宇都宮大学長に申請して許可を得ることが必要となります。

なお、状況の変化により長期履修期間で修了できない場合には、その長期履修期間を含めて6年まで在学できます。このうち長期履修期間を超えた期間については、留年扱いとなつて、通常の授業料が適用されることとなります。また、在学中に新規申請したり、許可された長期履修期間を1回に限り延長（3年を4年に）または短縮（4年を3年に）することもできます。

これらの申請期間は、以下のとおりです。

1. 新規申請

- ① 入学時に申請する場合

4月入学者・・・当該入学年度開始前の3月の入学手続き期間中

② 在学中に申請する場合

4月入学者・・・長期履修開始前年度の2月末日まで

2. 長期履修期間の延長及び短縮

長期履修期間の延長を希望する場合は、許可されている長期履修期間が終了する月の前月末日までに、短縮を希望する場合は、修了を予定する月の前月末日までに、長期履修期間変更願を提出してください。

本制度に関する問い合わせは、学務部陽東分室において受け付けます。なお、詳細については、合格者に対し改めて通知します。

IX. 疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の特別措置に関する事前相談

疾病・負傷や身体障害等のために、受験上及び修学上で特別な措置を必要とする場合は、平成28年11月17日（木）までに学務部陽東分室へ相談してください。

事前相談の期限後であっても、受験上及び修学上で特別な措置が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

X. 注意事項

- ① 学生募集に関する照会は、宇都宮大学学務部陽東分室において受け付けます。
郵便で照会する場合は、返信用封筒（住所、氏名明記、82円切手貼付）を同封してください。
- ② 募集要項の送付を希望する場合は、封筒の表に「大学院博士前期課程学生募集要項請求」と朱書し、250円分の切手を貼付した住所及び氏名明記の返信用封筒（角2）を同封のうえ請求してください。
- ③ 出願手続終了後は、提出書類の変更、入学検定料の返戻には応じません。
- ④ 出願者に対する宿泊施設の斡旋はしません。
- ⑤ 試験当日は、筆記試験開始後30分までに試験室に入室した者については、受験を許可しますが、試験時間の延長は認めません。

XI. 日本学生支援機構奨学金

奨学金を希望される方は、本学ホームページをご覧ください。

http://www.utsunomiya-u.ac.jp/campuslife/jugyouryo_scholarship.php#syoureisyougakukin

XII. 各専攻長と問い合わせ先

- ・機械知能工学専攻
高山善匡教授 028-689-6033
e-mail : takayama@cc.utsunomiya-u.ac.jp
- ・電気電子システム工学専攻
平田光男教授 028-689-6129 (学科事務室)
e-mail : office@ee.utsunomiya-u.ac.jp
- ・物質環境化学専攻
伊藤直次教授 028-689-6178
e-mail : itoh-n@cc.utsunomiya-u.ac.jp
- ・地球環境デザイン学専攻
郡公子教授 028-689-6232 (学科事務室)
e-mail : hot@cc.utsunomiya-u.ac.jp
- ・情報システム科学専攻
伊藤篤教授 028-689-6265 (学科事務室)
e-mail : secretar@is.utsunomiya-u.ac.jp
- ・先端光工学専攻
大谷幸利教授 028-689-7136
e-mail : otani@cc.utsunomiya-u.ac.jp

平成28年11月

宇都宮大学大学院工学研究科

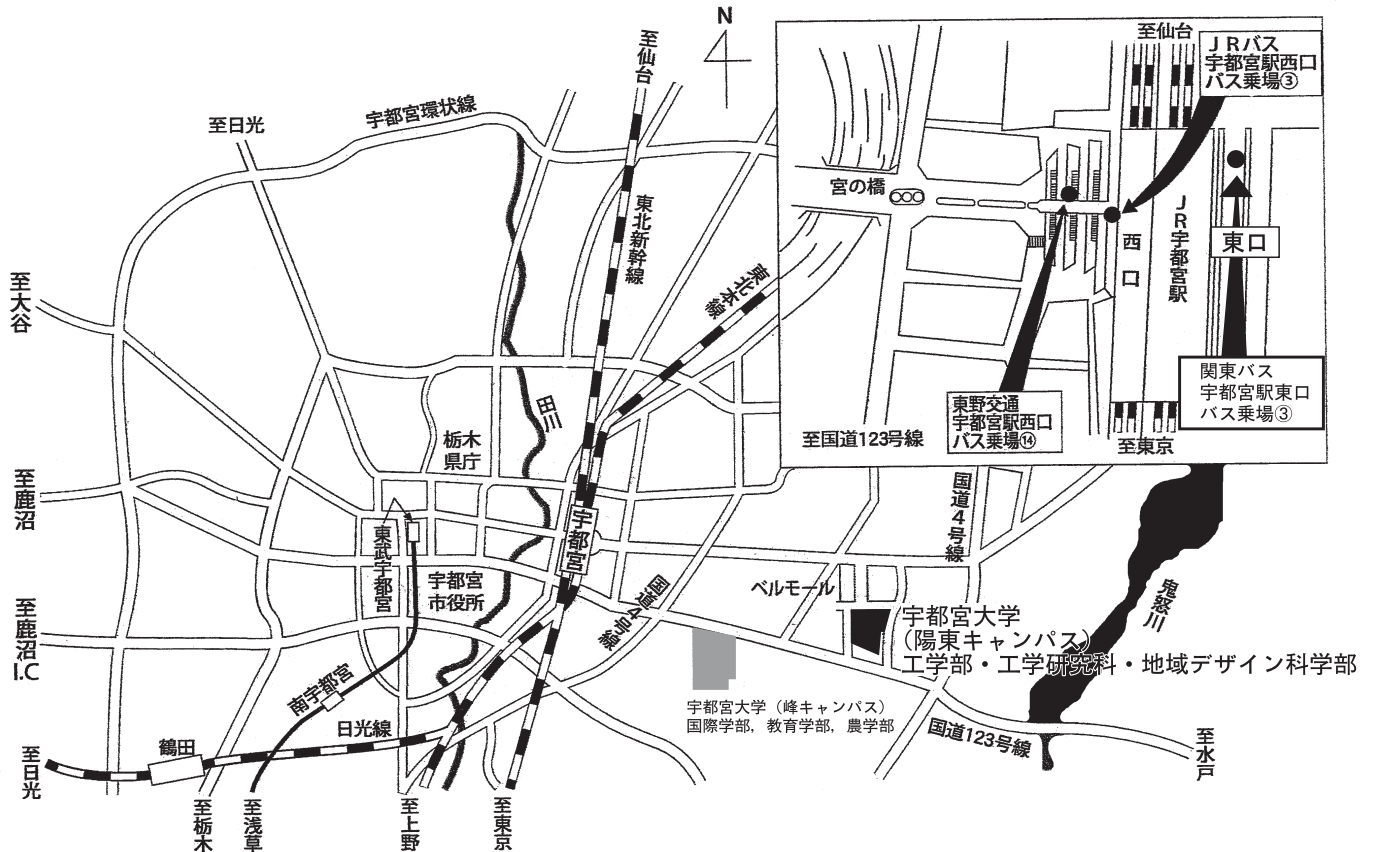
郵便番号 321-8585

宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学工学部・工学研究科内

電話 028-689-6003 (学務部陽東分室)

XIII. 試験場への案内

- 東京都内からの所要時間
 - J R 東京駅から 東北新幹線利用 約50分
上野東京ライン・宇都宮線利用 約1時間50分
 - J R 新宿駅から 湘南新宿ライン・東北新幹線利用 約1時間 (J R 大宮駅乗換)
湘南新宿ライン・宇都宮線利用 約1時間50分
 - 東武鉄道利用 浅草駅～東武宇都宮駅 約2時間30分
 - 羽田空港から 東京空港交通・関東自動車・東野交通 バス利用 約2時間30分
- 仙台からの所要時間
 - J R 仙台駅から 東北新幹線利用 約1時間30分



- J R 宇都宮駅及び東武宇都宮駅からのアクセス
 - ◎宇都宮大学工学部 (J R 宇都宮駅から約4.2km)
 - J R バス (芳賀町役場, 芳賀バスターミナル, 茂木行など)
J R 宇都宮駅西口バス乗場③から乗車約20分「工学部前」下車
 - 東野交通 (真岡, 益子, 海星女子学院, 清原球場, ヘルモール前行など)
J R 宇都宮駅西口バス乗場④から乗車約20分「工学部前」下車
東武宇都宮駅バス乗場から乗車約30分「工学部前」下車
(注) 他の行先のバスは「工学部前」を通りません。
 - 関東バス (宇大循環バス右回り, 左回り)
J R 宇都宮駅東口バス乗場③から乗車約15分「宇大工学部正門」下車
(注) 運行間隔は, 30分に1本程度です。

[参考]

バス時刻表検索「アットとちぎ」 <http://www.atochigi.ne.jp/>
 J R バス 関東(株)宇都宮支店 ☎ 0 2 8 (6 8 7) 0 6 7 1
 東野交通(株)本社営業所 ☎ 0 2 8 (6 6 1) 2 2 5 1
 関東自動車(株)築瀬営業所 ☎ 0 2 8 (6 3 3) 3 4 8 2

**XIV. 宇都宮大学大学院工学研究科（博士前期課程）
各専攻の教員・教育分野・担当授業科目の紹介**

(1) 機械知能工学専攻

教 員 名	教 育 研 究 分 野	授 業 科 目
○ 教 授 尾 崎 功 一	移動ロボット, 制御アルゴリズム, 機械学習法, マルチ・エージェント・ロボットシステム, ロボット・ビジョン	ロボット工学特論
○ 教 授 嶋 脇 聡	生体計測, 生体軟部組織のシミュレーション, インパクト・バイオメカニクス, バイオミメティクス	生体機械工学特論
※ 教 授 杉 山 均	三次元熱流動解析, 熱及び物質移動に伴う流れを乱流モデルも含め解析	熱流動現象解析特論
○ 教 授 高 山 善 匡	環境負荷低減を目指したプロセス制御重視型材料開発と摩擦攪拌接合 (FSW)	マテリアル科学特論
○ 教 授 長谷川 裕 晃	流体力学を基にした航空・宇宙, 医療, スポーツ分野への応用	実験流体力学特論
○ 教 授 横 田 和 隆	自律分散型ロボット・システム, 不整地移動ロボット, 製品組立計画の支援・自動化等	自動制御工学特論
○ 教 授 吉 田 勝 俊	ロボティクス, ヒューマンダイナミクス, システム制御論, 複雑系工学	ロボット力学特論
○ 准教授 佐 藤 隆之介	メカノケミカルポリッシング, ナノメータ表面の創成とSPM解析, 精密切削・研削加工	生産技術工学特論
○ 准教授 鄒 艶 華	磁気加工技術の基礎と応用, 電気と磁気の複合精密加工技術	精密加工学特論
○ 准教授 白 寄 篤	塑性加工における金属材料の変形挙動解析 (基礎実験およびシミュレーション)	成形加工学特論
○ 准教授 関 川 宗 久	非線形ダイナミクス・振動子の同期現象・カオス	非線形システム特論
○ 准教授 星 野 智 史	群知能ロボットシステムとその産業応用 (知的生産システム, ITS, etc.), 循環型エネルギー供給を支援する物流システム	知的エージェント特論
○ 准教授 谷 島 尚 宏	連続体の運動と変形における微分幾何学的研究	幾何学特論
○ 准教授 山 本 篤史郎	材料組織・原子配列制御による新機能・構造材料創製ならびに評価	材料組織評価学特論
助 教 石 戸 勉	気泡や液滴をキーワードとした流体力学の基礎	
助 教 加 藤 直 人	流体関連振動の抑制・誘導・制御, 周期的な渦流出または流体関連振動による伝熱促進	
助 教 川 口 尊 久	表面形状の測定・解析, 微小接触点の測定・評価, 精密位置決め	
助 教 中 林 正 隆	アクアバイオミメティクスによる医療用生体内推進機構に関する研究	

(注1) 希望指導教員は, ○印の付してある教員から選ぶこと。

(注2) ※印は, 平成30年3月退職予定教員。希望指導教員とする場合は, 事前に連絡をとること。

(2) 電気電子システム工学専攻

教 員 名	教 育 研 究 分 野	授 業 科 目
教授 石 井 清	磁性薄膜, 磁性ナノ粒子, 各種酸化物薄膜の開発とエレクトロニクス・エネルギー・環境応用	応用磁気工学特論
○ 教授 石 田 邦 夫	発光材料・デバイスの物性、および光励起状態の量子ダイナミクスに関する理論研究	量子材料物理学特論
○ 教授 入 江 晃 亘	超伝導体超格子構造を用いた新機能量子デバイスの開発, ナノエレクトロニクスに関する研究	超伝導エレクトロニクス特論
○ 教授 川 田 重 夫	核融合工学, エネルギー問題, 粒子ビーム工学及び関連するシミュレーション支援環境	エネルギー科学特論
○ 教授 北 村 通 英	半導体, イオン結晶, 金属間化合物などのエネルギーバンド構造の計算	量子力学特論
○ 教授 古 神 義 則	ミリ波通信システム及びミリ波計測技術の開発	ユビキタス通信工学特論
○ 教授 東 口 武 史	高強度レーザーの開発, 極端紫外～軟X線光源, 軟X線顕微鏡の開発, 軟X線光学	レーザー工学特論
○ 教授 平 田 光 男	ロバスト制御理論, サンプル値制御理論, 高速・高精度位置決め制御, ナノスケールサーボ制御, 及びそれらの産業応用	ロバスト制御理論特論
○ 教授 船 渡 寛 人	パワーエレクトロニクスによる電力系統制御, パワーエレクトロニクス回路, 新エネルギー	応用パワーエレクトロニクス特論
○ 准教授 東 剛 人	システム制御, システムバイオロジー, パワーネットワークに関する理論とシステム構築	システムバイオロジー特論
○ 准教授 柏 倉 隆 之	ナノエレクトロニクス材料の分析・評価技術の開発, 超伝導薄膜の作製	量子エレクトロニクス特論
○ 准教授 佐久間 洋 志	磁性薄膜, 磁性ナノ粒子の磁氣的・電氣的特性に関する研究, 結晶構造解析	半導体電子工学特論
○ 准教授 清 水 隆 志	マイクロ波・ミリ波・光波融合デバイス開発および材料計測技術開発	超高周波工学特論
○ 准教授 茨 田 大 輔	ベクトル波ホログラフィ, 光・力学エネルギー変換, 時空間光信号解析, 一般座標光学	数理光物理学特論
○ 准教授 森 大 毅	音声コミュニケーションの性質解明とモデル化, およびマンマシンインタラクションの高度化への応用	データ工学特論
○ 准教授 依 田 秀 彦	光通信や光情報処理に必要な光エレクトロニクスデバイス・光学薄膜デバイスの開発	光波制御素子特論
○ 准教授 寄 川 弘 玄	低次元物質を中心とした固体の電子構造の数値シミュレーションによる研究	固体物理学特論
助 教 齋 藤 和 史	微粒子プラズマにおける波動・非線形現象・構造形成および低次元の物理	物理学特論
助 教 鈴 木 雅 康	システム制御論, 力学系理論, およびそれらの応用	
助 教 春 名 順之介	パワーエレクトロニクス	
助 教 八 巻 和 宏	高温超伝導体を用いた高周波電子デバイスの作製及び強相関電子系の基礎物性研究	

(注) 希望指導教員は, ○印の付してある教員から選ぶこと。

(3) 物質環境化学専攻

教 員 名	教 育 研 究 分 野	授 業 科 目
※ 教 授 伊 藤 直 次	膜分離を中心とした分離操作および反応分離プロセスへの展開に関する教育と研究	分離工学特論
○ 教 授 上 原 伸 夫	分離・計測機能を有する物質の創製とそれを用いる分析法の開発に関する教育と研究	環境分析化学特論
○ 教 授 江 川 千 佳 司	各種表面分光法を駆使した原子・分子レベルにおける固体表面での反応機構の研究	量子物性材料特論
○ 教 授 大 庭 亨	生体分子の機能や、生体超分子の構築原理を応用した新規ナノ材料の開発	有機生物化学特論
○ 教 授 加 藤 紀 弘	機能性高分子・環境応答性高分子ゲルの開発と生物学への応用に関する教育・研究	生体機能物質特論
※ 教 授 木 村 隆 夫	環境適応性の高分子化学と廃棄プラスチックの再生技術の開発	高分子リサイクル特論
○ 教 授 鈴 木 昇	固体の表面物理化学的検討（吸着現象、表面改質、メカノケミストリーなど）	機能界面工学特論
○ 教 授 単 躍 進	機能性ペロフスカイト型酸化物の合成と物性に関する教育・研究	固体化学特論
○ 准教授 飯 村 兼 一	有機超薄膜の物性と構造、および機能化に関する教育と研究	コロイド・界面化学特論
○ 准教授 刈 込 道 徳	新規合成反応の開発とそれを用いた特異な構造を有する有機化合物の合成	不斉化学特論
○ 准教授 酒 井 保 藏	磁性粉を利用した水処理、磁場を利用した分離工学、反応制御工学	水再生工学特論
○ 准教授 佐 藤 剛 史	高温高圧水、超臨界二酸化炭素、無機膜を利用した各種環境調和型改質プロセスの開発	化工物性特論
○ 准教授 佐 藤 正 秀	界面化学的手法による異相界面での熱・物質移動が関与する各種プロセスの制御と最適化	界面移動現象特論
准教授 清 水 得 夫	天然水などを対象とする微量元素の高感度分析及び化学種分析	機器分析特論
○ 准教授 手 塚 慶 太 郎	機能性無機化合物の新規合成と物性評価に関する研究	
○ 准教授 諸 星 知 広	微生物間コミュニケーションの遺伝子レベルでの解析と病原性抑制技術への応用	遺伝子・タンパク質工学特論
○ 准教授 吉 原 佐 知 雄	電気化学的手法を用いたナノレベルの表面制御及び新機能性物質の開発	先端電気化学特論
助 教 伊 藤 智 志	機能性有機材料（有機半導体、有機太陽電池材料、有機EL材料、抗菌材料）の開発	
助 教 岩 井 秀 和	光触媒の開発、および不斉分子の自己組織化構造に関する研究	
助 教 奈 須 野 恵 理	機能性高分子ゲルおよびファイバーを用いた微生物代謝機能の制御に関する教育・研究	
助 教 荷 方 稔 之	微生物の環境化学物質に対する認識能力の探索とその応用に関する研究	
助 教 古 澤 毅	エネルギー（バイオマス等）・環境（VOC分解）問題に関わる反応に用いる触媒の開発	
○ 准教授 松 本 太 輝 (兼担)	各種機器分析法の原理と応用、最新の機器分析技術トピックス	光材料分析特論

(注1) 希望指導教員は、○印の付してある教員から選ぶこと。

(注2) ※印は、平成30年3月退職予定教員。希望指導教員とする場合は、事前に連絡をとること。

(4) 地球環境デザイン学専攻

教 員 名	教 育 研 究 分 野	授 業 科 目
【建築環境デザイン学コース】		
○ 教 授 郡 公 子	建築環境・エネルギーの設計法と制御法	環境設備特論
○ 教 授 杉 山 央	建築材料及びコンクリート工学	建築構造材料特論 環境材料学特論
○ 教 授 中 島 史 郎	建築材料, 木質構造材料の性能評価, 建築物の再生・再資源化	木造建築特論
○ 教 授 増 田 浩 志	建築構造, 部材および接合部の力学性状	建築構造学特論
教 授 三 橋 伸 夫	建築計画・地域計画	環境デザイン基礎特論
○ 准教授 古 賀 誉 章	建築安全, 建築計画, 環境心理, 建築設計	建築計画特論
○ 准教授 佐 藤 栄 治	都市計画, 建築計画	都市解析特論
准教授 中 野 達 也	建築構造, 鋼構造建築物の耐震安全性	建築耐震設計特論 建築構造解析特論
○ 准教授 藤 本 郷 史	建築材料・施工, 建築物の維持保全	構法設計法特論
○ 准教授 安 森 亮 雄	建築意匠, 建築設計	建築設計特論
○ 准教授 横 尾 昇 剛	建築環境・建築物の環境性能評価	エコロジカル建築特論
助 教 糸井川 高 穂	建築環境・設備	
助 教 中 島 昌 一	建築構造, 木質系部材・接合・架構の性能評価	
助 教 大 嶽 陽 徳	建築家の時間認識, 建築の分節・統合表現, 建築家の建築形態創出方法	
【社会基盤デザイン学コース】		
○ 教 授 池 田 裕 一	河川における水の流れと土砂移動, 湖沼における水の流れと水質・生態系, 環境流体力学	水環境マネジメント学特論 流域デザイン学特論
○ 教 授 大 森 宣 暁	都市交通計画, 人の活動・交通行動分析, バリアフリーのまちづくり	都市計画特論 都市交通特論
○ 教 授 中 島 章 典	橋梁構造及び部材の静的・動的挙動の解明	耐震工学特論 橋梁工学特論
○ 教 授 藤 原 浩 已	コンクリート, 鉄筋コンクリート構造物の高性能化	社会基盤材料工学特論
○ 教 授 山 岡 暁	プロジェクトマネジメント, 国内外の社会基盤の経済財務評価, 電力土木	社会基盤マネジメント特論
○ 准教授 海 野 寿 康	地盤工学, 地盤地震工学, 土砂災害	地盤力学特論
○ 准教授 近 藤 伸 也	防災マネジメント	
准教授 阪 田 和 哉	社会資本の経済評価, 公共事業・公共施策の費用対効果分析	建設経済学特論
○ 准教授 清 木 隆 文	数値解析的, 実験的アプローチ手法による地盤構造物の短期・長期安定性の検証および地下空間の有効な利用手段の模索	社会基盤解析学特論
○ 准教授 丸 岡 正 知	高機能性コンクリート, リサイクル材料	エコマテリアル工学特論
准教授 藤 倉 修 一	橋梁構造物の耐震及び防災工学	
助 教 飯 村 耕 介	水の流れに対する植生の抵抗, 地形や植生を利用した津波減災効果の評価	
助 教 長 田 哲 平	都市計画, 交通計画, 都市における物流の研究, 都市とIT	
助 教 NGUYEN MINH HAI	鋼コンクリート複合構造の力学性状の解明, 橋梁等の維持管理	
助 教 松 本 美 紀	建設マネジメント	

(注) 希望指導教員は, ○印の付してある教員から選ぶこと。

(5) 情報システム科学専攻

教 員 名	教 育 研 究 分 野	授 業 科 目
○ 教 授 伊 藤 篤	組込みシステム, モバイルシステム, ウェアラブルデバイス	ソフトウェア概論
○ 教 授 伊 藤 聡 志	MRIの撮像アルゴリズムと画像再構成法, 医用画像処理	画像復元工学特論
○ 教 授 上 村 佳 嗣	電磁界解析, 電磁環境計測, 電磁界の生体への影響	信号処理特論
○ 教 授 佐 藤 美 恵	映像提示技術, ヒューマンインタフェース, 画像処理, 感性情報処理	情報数理特論
○ 教 授 東海林 健 二	画像処理, パターン認識, 視覚情報処理	映像メディア工学特論
○ 教 授 長谷川 光 司	音響信号処理, 音響計測, 波動理論とその応用	音響情報工学特論
○ 教 授 長谷川 まどか	画像符号化, 画像処理, 電子透かし, ユーザブルセキュリティ	デジタル画像工学特論
○ 教 授 矢 嶋 徹	数理解物理学, 計算機物理学及び無限自由度可積分系の解析	非線形解析特論 数理解析特論
○ 教 授 横 田 隆 史	並列・分散計算機システム, 組込み計算機システム, 設計方法論	応用情報システム特論 先端システム・ネットワーク論 アルゴリズム特論
准教授 青 木 恭 太	画像の高解像度化, 画像理解, 画像理解システムの構成	
○ 准教授 石 川 智 治	認知科学・感性工学に基づくマルチモーダルインタフェース技術, バーチャルリアリティ, 心理物理学, 心理生理学	ヒューマン計測工学特論
○ 准教授 大 津 金 光	高性能計算機システム, 並列分散処理	計算機アーキテクチャ特論
○ 准教授 熊 谷 毅	並列アーキテクチャ, 探索構造, マルチメディアの内容検索	計算論特論
准教授 小 池 正 史	素粒子物理学および素粒子論的宇宙論の理論的研究	数理科学特論
准教授 外 山 史	進化計算, ソフトコンピューティング, パターン認識	大規模システム最適化特論
准教授 羽多野 裕 之	無線技術応用, 無線ポジショニング, レーダネットワーク, モバイルコミュニケーション	
○ 准教授 藤 井 雅 弘	無線通信ネットワーク, 高度交通システム, 位置情報システム	情報通信プロトコル特論
助 教 大 川 猛	組込みシステム, 並列分散計算機, FPGA, システム設計方法論	
助 教 篠 田 一 馬	画像符号化, 画像処理, マルチスペクトル画像	
助 教 森 博 志	コンピュータグラフィックス, 複合現実感	

(注) 希望指導教員は, ○印の付してある教員から選ぶこと。

(6) 先端光工学専攻

教 員 名	教 育 研 究 分 野	授 業 科 目
○ 教 授 阿 山 みよし	視覚を主体とした感覚・知覚情報処理, 色彩工学, 認知科学, 感性工学, LED光の視感評価	色彩工学特論
○ 教 授 大 谷 幸 利	オプトメカトロニクス, 光計測, 偏光科学・工学, 光駆動アクチュエータ・マニピュレータなど光工学に関する研究	光計測特論 オプトメカトロニクス特論
○ 教 授 杉 原 興 浩	先端光機能材料およびそれをを用いたナノ加工と光集積回路に関する研究	光デバイス特論
○ 教 授 湯 上 登	超高出力レーザーとプラズマとの相互作用による電磁波放射, プラズマフォトンクスデバイスの開発	プラズマ工学特論
○ 准教授 二 宮 尚	可視化手法と画像処理技術を利用した熱流動現象の三次元乱流計測	可視化情報工学特論
○ 准教授 藤 村 隆 史	光機能材料(ホログラム記録材料, プラズモニックメタマテリアル)の開発と次世代光メモリーシステムに関する研究	先端フォトンクス特論
○ 准教授 山 本 裕 紹	3Dディスプレイ, デジタルサイネージ, 生物・植物向けの特異なディスプレイ, 光を利用した情報獲得に関する研究	ディスプレイ工学特論
助 教 Nathan Hagan	分光イメージング, 光工学, 収差理論, 計算機センシング	
助 教 長谷川 智 士	光計測, 光情報処理, 光加工, ベクトルビーム生成など計算機, ホログラムによる光波制御技術を駆使した超短パルスレーザー加工に関する研究	
○ 教 授 早 崎 芳 夫 (兼担)	情報フォトンクス, デジタルオプティクス, レーザー加工, ホログラフィなど光科学技術に関する研究	情報光学特論
○ 教 授 谷 田 貝 豊 彦 (兼担)	光計測, 光情報処理, 機能光学材料, バイオイメージングなど光技術の応用に関する研究	波動光学特論
教 授 荒 木 敬 介 (客員)	結像光学, 光学機器の光学設計, 特に収差論を用いた光学設計理論	光学基盤技術特論 幾何光学特論
○ 准教授 Barry Cense (特任) (CENSE ABRAHAM JOSEPHUS)	偏光感受光干渉断層計, 適応光学, 網膜計測(神経束と緑内障)	バイオオプティクス特論

(注) 希望指導教員は, ○印の付してある教員から選ぶこと。

(7) 全専攻共通

教 員 名	教 育 研 究 分 野	授 業 科 目
准教授 渡 邊 信 一 講 師 堀 尾 佳 以 教 授 網 屋 毅 之 (兼担) 准教授 野 本 義 弘 (兼担)	あいまい量の計測評価, 感性評価 工学系留学生に対する専門日本語	創成工学プロジェクトⅠ 創成工学プロジェクトⅡ ものづくり実践特論 大学院インターンシップ A 大学院インターンシップ B 技術日本語特論Ⅰ 技術日本語特論Ⅱ 知的財産権特論 技術経営特論 知財リスクマネジメント 特論